

12～3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

177,739円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	20,224円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	30,499円
通信費(折込、郵送、携帯電話代)	127,016円
支出計 20/12/1～21/3/31	177,739円

市政を考える 月刊武松

発行日
21/4/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第195号

21500部発行

2021年度予算可決

守屋市長 初の予算編成 一般会計は過去最大の694億円

コロナ禍や少子高齢化の影響で税収源となる中、厳しい予算編成だったと推察します。新規ではデジタル化関係のものもありますが、全体的には、継続すべきものは継続されています。

明るい話題は、9月の小田原三の丸ホール開館ですが、一方で順次始まる新病院建設事業の大規模投資に備えなければなりません。

また、新型コロナワクチン接種が、一部始まっていますが、インフルエンザのように、診断薬、ワクチン、治療薬が具備されるには、時間がかかります。当面は各自が、感染防止対策を徹底し、家庭内に持ち込まないよう努めなければなりません。

■2021年度予算規模

歳入は、市税が310.0億円4.28%減の見込みです。図1の義務的経費は3.29%増。その他経費は、物件費が117.4億円13.9%増です。投資的経費は、市役所熱源改修事業等が終了し、24.0%減です。

図2の義務的経費中の扶助費は、初の200億円越え、205.1億円 前年比3.06%増となりました。

一般会計	694億0000万円(+ 2.21%)
特別会計(10会計)	606億5577万円(+ 2.85%)
企業会計(3会計)	325億3622万円(- 1.20%)
全会計(14会計)	1625億9199万円(+ 1.74%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	310億0200万円(- 4.28%)
(2)地方交付税	12億0000万円(+ 20.0%)
(3)市債(借金)	53億9330万円(+ 4.55%)
うち臨時財政対策債	28億0000万円(+ 47.4%)

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備	45億8914万円(- 24.0%)
(2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費	
うち人件費	367億3827万円(+ 3.29%)
うち人件費	115億8238万円(+ 3.00%)
扶助費	205億0896万円(+ 3.06%)
公債費(借金返済)	46億4693万円(+ 5.06%)
扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成	

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

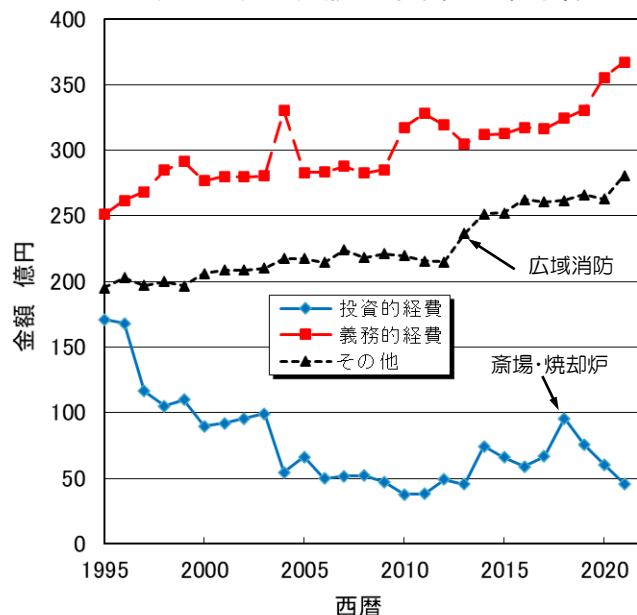
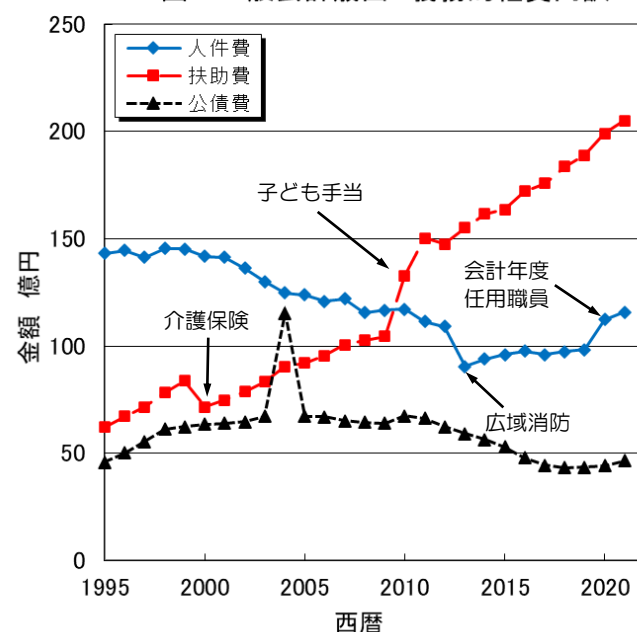


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



主な事業の予算額

■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費

- 生活保護費 62億6353万円
- 児童福祉費 96億7844万円
- 障害者福祉費 53億0832万円

教育費

- ICT教育推進事業 2億2937万円
- 2025年度末までの端末借上料、ソフト、運用・保守、機器活用支援経費等の総額

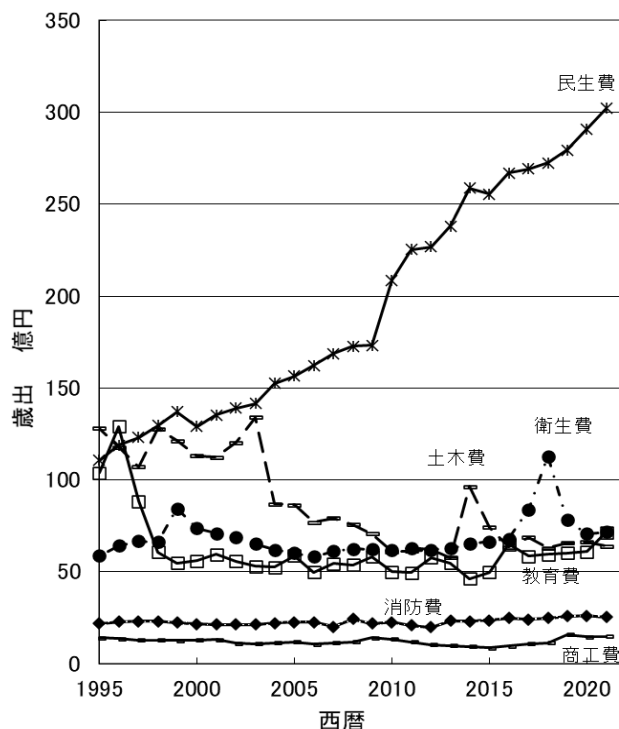
総務費土木費他

- 文化創造活動担い手育成事業 1億0000万円
開館記念事業の著名なアーティスト等による鑑賞事業
- 市民ホール整備事業 管理運営・委託料1億6094万円
- 国府津駅周辺整備事業 4億1994万円
自転車駐車場整備工事、駅前広場・周辺道路整備
- おだわらイノベーションラボ関係費 1946万円
ミナカ小田原の小田原新城下町棟2階の一部を賃借し、公民連携の拠点とする。(2021年7月1日～)

■特別会計・企業会計

- 競輪事業特別会計 145億4000万円(+ 17.5%)
- 天守閣事業特別会計 1億2100万円(- 17.1%)
- 国民健康保険事業特別会計 199億2500万円(+ 1.99%)
- 国民健康保険診療施設事業特別会計 3300万円(+ 3.13%)
- 公設地方卸売市場事業特別会計 1億4300万円(+ 2.88%)
- 介護保険事業特別会計 162億9200万円(+ 3.72%)
- 後期高齢者医療事業特別会計 48億5300万円(+ 1.89%)
- 公共用地先行取得事業特別会計 77万円(+0.00%)
- 広域消防事業特別会計 43億2500万円(- 14.4%)
- 地下街事業特別会計 4億2300万円(- 0.24%)
- 水道事業会計 54億4434万円(+ 1.53%)
- 病院事業会計 146億7617万円(- 3.28%)
- 下水道事業会計 124億1571万円(+ 0.17%)

図3 小田原市の一般会計主な歳出推移(当初予算)



おだわらイノベーションラボ

予選特別委員会でも質疑が多くされた事業です。

■目的

民間、大学や研究機関をはじめ、柔軟な発想やアイデアを持つ若者や女性など多様な主体が集い、学び、交流し、より一層まちの動きが加速するような公民連携によるイノベーションを引き起こす拠点とする。

■事業概要

ミナカ小田原の一部を賃借し、公民連携の拠点とする。(2021年7月1日～)

2021年度に新設する2つの組織を拠点内に配置

①未来創造・若者課(共創・若者活躍係)

若者や女性の発想力や民間企業の力などを生かして、社会や地域の様々な課題の解決を図るため、それらと市役所をつなぐ窓口となり、あらゆる分野での公民連携を推進する。

②デジタルイノベーション課(デジタルまちづくり係)

市民の生活の質の向上を図るため、民間企業等と連携してデジタル化を推進する。

■お知らせ■

緊急事態宣言発出のため1～3月の発行配布は中止いたしました。議会報告会は、当面の間、中止します。



公式HP
月刊武松パナパナ他



twitter
防災・感染症情報



facebook



2021年度
予算概要



▲北條五代祭りにて
5/3パレード中止